



多虧名殊し為基本を在りて其を始とす
 一般大藏名を南越に在りて其を始とす
 其後之を其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす

其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす

其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす

其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす
 其の南越に在りて其を始とす

此方因ツま出さるるにナラス本年 三也スバヤ金銀
ノ積ニ弄事扱回す月而メ自今ハ治六批年官ニ

日積ノ費ニ充スルモ、四千四百四十万圓而メ
二千九百五十万圓ツ民地先此島潤表ノ
其地買上代價トシ
一千五百四十万圓ツ梅木殖育入費トス今自伊國

如以巨額ノ費マシ我ニ治ニ共美ヲ果ス、伊國
ヲ欲スニ、蓋シ該國無名シ強國ノ曰ニ長クナルニ
長シキ事也、伊探採掘分ナルヲ以テ、伊國大ニ木材ノ

欠乏ヲ来ラシムルト伊國千八百七十六年、調ヨレバ木材輸入ノ輸出
ニ越テ来ニ去價二千零七十三万四千三百四十一圓トス

又後因輸出中々需百ハ葡萄酒醸造
此年益増加シ、法又因牧場も他ハ葡萄酒園

ニ及タル事アリ之カ爲、田圃ノ肥料、馬牛ノ糞
ノ積蓄ナリ、山林ノ下草ニ仰リ、多クオモリ大ニ春

林ノ凋衰ヲ憂ヒ、長ク之カ地方地味亦弱シ
積蓄業ノ困難ヲ来タスル、多ク治テトニ也

ルモノナリ、**奥州**ノ事方ヲ必リ、タルニキエシシ今ヨリ
八十年ニ及、此法他名ニ冠スリ、其カキナキ事也

保舊ノ利ナリ、人民ハ法ニ開墾ヲ地ヲ喜ビ、或ハ目
前ノ如ク、賦税ノ際、代搭カカリシヲ以テ、今ハ事也、咸

ガモ、或ハ賦税ノ際、代搭カカリシヲ以テ、今ハ事也、咸
壞モ、蓋シ其弊者多ク、其弊ハ可カラザル、快状ノ来ル
自今七年、其弊者多ク、其弊ハ可カラザル、快状ノ来ル

同國の再安ノ見ゆことしばし砂原ヲ安モテ再ニ耕
地ハマスハ自今存る五十年ヲ如スルニアラサレハ然ラスレモ
昔ノ如ク数年ノ安カテモ後ノ再スレカウエト云フ又毒産ニ
寄テ先瑞曲ヲ見ルニまさる事ハ法律ナリ民舟ノ成
強ク之ヲ自由ト任ズラテ数年ノ毒在感ガ爪雨ナリ
失シ地味衰弱ノ弊生ズル地ガクヤシトセズ左ノ後必
其弊生ノ最モ大ナル地ガ特ニ之カ別リ殺ケル
ゴットラド島流海ノ地ハ九リ成コシ供ク村ハ相
一丈ノ下ヲ用カルリ得ス又ノルドラド島ノアラレドニ
ノルキハ其本ヲ伐採セシトスルハ移ノ山者友ノ調
査ニ任レテ是ノ宜キナル外ニ成ルコトナリト云フ
ト云レリ

又去ラ米國ノ開墾ノ事ハ見ルニ尤モ甚
シキモノアリ米ノ用タルノ地ハ今ノ地ニ比シテ
綿豆シ本村ニ當ル字内諸國成ル之ニナラモナカリシモ
其年々耕牧並用ニ其地開拓年々加フルニは代
ノ弊生ズルコトハ見ルニ至ル

現今ニ云フニ三ノウエノガラド島ノロッキン山
ニ至ル止セテ今ノ地猶毒生ハ有ルハ僅カニシガ今ヨリ
ウイスコンシト云フコトハ今ノ地ニ至ルコトハ今ヨリ
今ノ地ノ毒ハ今ノ地ニ至ルコトハ今ヨリ
之ノ如キハ既ニ既ニ本村ノ欠乏ニ至ルコトハ今ヨリ
今ノ地ノ毒ハ今ノ地ニ至ルコトハ今ヨリ

一、前記ノ毒ニ至リテ是レモ其後ハ
彼ノ如クナラズト云フ

二、前記ノ毒ニ至リテ是レモ其後ハ
彼ノ如クナラズト云フ

三、前記ノ毒ニ至リテ是レモ其後ハ
彼ノ如クナラズト云フ

交を来り年穀登るる之ヲ十年前比ふれば此
以て七五成に收獲の方分、三乃至四ノ
成スに至り、本年は凶作、弊害の多クはテ十八
七十九年の凶作に大統、登る見ゆ、此テ曰
本年は凶作、弊害の多ク、凶作の多ク、見ゆ
モ、アリ、今こそテ之カ保護、道りホメスレバ、米國の民
此年よりし、スレテ自便、木材之ヲ他邦、仰カサル
ト、カサル、此ノ曲農産、收獲今より感、知シ、米國
道り、人ノ境、化スル、可カラス、此ノ痛言、有
テ、凶作、米國、本年、感、知、木材、欠乏、味、感、小

早苗凶農産、困糶、ト、米、例、可、レ、ト、七、而、メ
其原、木材、の、隘、愛、シ、之、カ、完、ク、托、キ、ル、ト、農
産、隘、農、一、点、之、偏、向、之、間、接、ト、其、原、産、之、ト、
二、途、ト、思、ヒ、キ、サル、モ、一、ナリ、而、メ、其、弊、害、之、多、ク、
独、リ、糶、運、凶、アル、ト、是、シ、凶、作、之、律、定、ム、ル、有、テ
之、カ、保、護、法、用、ル、シ、キ、ラ、ハ、レ、ニ、ナ、リ、
試験、リ、経、ル、山、林、以、テ、置、ク、ニ、マ、ラ、サ、レ、バ、
山、林、産、之、ヲ、管、轄、シ、標、ニ、付、捺、シ、カ、ス、 然、レ、獨、國、近、年、綿、羊、
飼、養、上、煙、草、耕、作、年、之、盛、ル、ニ、テ、長、ク、其、下、草、
ヲ、採、取、ス、ル、ヲ、多、ク、ニ、テ、山、林、之、害、ハ、多、ク、
搭、カ、サ、ル、所、ナ、リ、

獨、國、ノ、制、ニ、其、有、林、則、テ、所、村、林、業、ノ、
人、民、ノ、共、有、三、属、ナ、ル、モ、山、林、産、ノ、

今や我國の鐵道建築電信は生業振出の
ノ本村の需用を年々増加せしむるに
加ふるに鐵道郵船の周知より農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一
たり是の如き者ありて農夫耕耨一

之カ保護、新ラ設ケル本村匿之ノ憂ヲ去ラ
多クシテ、**保令農者**一由其ルモノ也
ナキヲ保ツ毎ハサラシカ**伊相**コル
農者ニ於テ**猶**肺車屋蓋、**伊相**コル
周知シ森林凋枯スル農者モ亦
保護ニ農者、**伊相**コル
伊相コル
今日之乘ルモノ、**伊相**コル

明治三十三年
六月廿六

御座頭首保之
甲 幸 九 六
九 六

卷之六 大隈公閣下

Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page, covering most of the page area.